

マコモ

湖沼、河川、ため池、水路などに生育する大型の植物です。長さ0.5～1m、幅2～3cmくらいの細長い葉をたくさんつけます。明るい緑色の葉が集まって生育していると、水辺でよく目立ちます。

夏から秋に、たくさんの小さな花が円錐形に集まった花序（かじょ）をつけます。花序の枝の上部に雌花、下部に雄花がついています。遠くから見ると花序は黄緑色にみえます。

水辺でヨシと一緒に生育することがよくありますが、そのような場合には、マコモのほうが水の深いところまで生育します。茎に黒穂菌（くろぼきん）が寄生して肥大したものを食用にします。

富士市での現状

平地部の流れの緩やかな川の岸や水路に生育しています。田子の浦に東側から流入する沼川の周囲で、たくさんの生育地が確認されました。このあたりは傾斜がほとんどなく、川や水路の水の流れが緩やかで、水底には泥が堆積しているので、マコモの生育に適しています。浮島ヶ原自然公園の水路にもマコモが繁茂（はんも）しています。旧富士川町域では確認されていません。



マコモの生えている様子

マコモを確認したメッシュ

